

香川県知事賞

作品名：「止まっても光る自転車ライト」

受賞者： 三木町少年少女発明クラブ
(高松市立木太中学校 1年)

みやけ はると
三宅 晴斗

〈作ったきっかけ〉

私は、塾に自転車通っています。その塾に行くには街灯の少ない道を通らなければいけません。私の自転車ライトは発電して光るタイプなので、交差点で止まると自分も周りが見えず対向車から気づいてもらいづらくなり危険です。

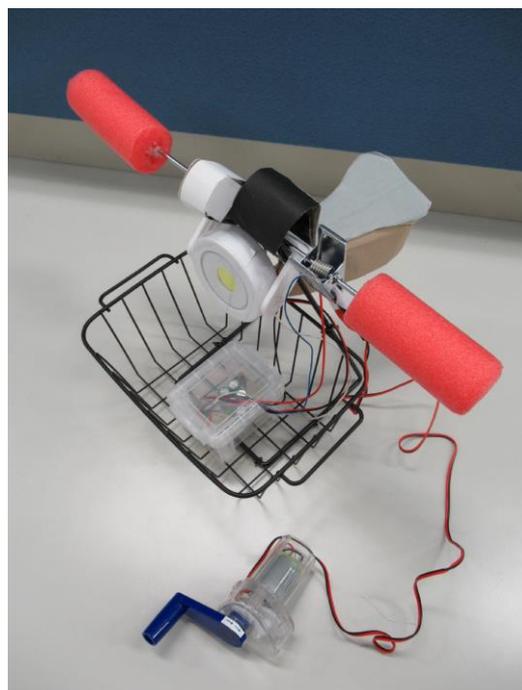
そこで、発電した電気を溜め、停車した時にその電気で光るライトが欲しいと思い、この作品を作りました。

〈工夫点〉

発電機とライトの間に回路をつけることで、今ある部品につけやすくなりました。スイッチ操作なく数分後に消灯する。

〈使い方〉

ペダルの代わりに発電機を光るまで回します(5回くらい)。右回りに回すと発電します。模型ではテールライトもつけました。



香川県教育委員会教育長賞

作品名：「くつピカピーナ」

受賞者： 香川県立高松工芸高等学校 3年

ながい けいた たかす よう まつばら たけし
永井 景太、鷹巣 陽、松原 武史

体育の授業の後の靴の裏の汚れや、体育祭などの学校行事の後に、靴の裏の汚れを一人一人が拭いているのを見て、もう少し効率的に汚れを落とせる機械があればいいなと思ったのがきっかけでした。作品の材料のほとんどは廃材を使用しています。ほうき、モーター共に2つ使用することで、より効率化を図り、バネで足場を浮かし、固定することでスイッチのON・OFFが可能になり、無駄のないようにしました。ほうきの下の取り外しのできるトレーで落としたゴミや泥を集め、捨てることができます。

手すりを持って足場を踏むと、スイッチがONになり、モーターが作動します。約5秒間上に乗り、降ります。

